

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第95号 (R元.6.20)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄

はじめに 6月下旬となりました。梅雨の季節ですが、晴れの天気も多く、また湿度も高くないことから過ごしやすい天候となっています。皆様の地域ではいかがでしょうか？

先日職場の交通安全研修会において、衝突防止装置の付いた車の試乗体験があり、初めて実際に体験してみました。時速30kmほどで人に見立てた衝立に向かっていくのですが、直前で急ブレーキがかかり「おおっと」という感じで止まりました。いざという時のために車に安全装置を付けたほうが良いなと感じました。

ニュース作成中の18日22時過ぎ、山形県沖で地震が発生、新潟や山形で震度6強、6弱の地震とのこと、屋根の壊れた家も多くみられ、梅雨の時期でもありお困りだと思います。更なる被害のないことを祈るばかりです。地震発生地域の皆様、余震等お気をつけてください。

さて、今回のORMZニュースは、現地での巡回診療の様子や医学生の同行報告などを伝えします。
今後とも皆様のご支援のほどよろしくお願いします。



会の活動報告

・6月10日、在ザンビア日本国大使館のホームページに、山元香代子先生が側嶋秀展在ザンビア日本大使に活動報告を行った様子が掲載されました。ORMZのホームページでもお知らせしていますが、またご覧にならない方は、ぜひご覧ください。また併せて、外務省のホームページ「アフリカ ちよつとい話・エピソード集」にも活動の様子が掲載されていますのでご覧ください。

在ザンビア日本国大使館（和文）https://www.zm.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000417.html

（英文）https://www.zm.emb-japan.go.jp/itpr_en/00_000418.html

外務省ホームページ https://www.mofa.go.jp/mofaj/af/af1/page23_002940.html

・6月11日、総務省統計局から経済センサス基礎調査が届き回答しました。

現地活動報告（山元香代子先生より）

みなさま いかがお過ごしでしょうか。

日本では真夏日を記録したところもあり、しばらく暑いですね。ルサカは朝晩すっかり寒くなりました。ザンビアの通貨クワチャは更に安くなり、1ドル13.0クワチャとなっています。水不足もあり6月からは計画停電が予定されているようです。

5月15日、ルアノ郡リテタ地区での2回目の巡回診療でした。2018年11月28日に第1回目の巡回診療を実施しましたが、12月には道路状況が悪く、車が泥道から抜けられなくなり途中で断念しました。雨季には実施することができず、今回は6ヶ月ぶりの診療でした。

朝3時半にトヨタザンビアと日立建機から寄贈されたランドクルーザーとレンタカーの2台でルサカを出発。助産師を除いたいつものスタッフに、ルアノからコミュニティヘルスワーカー(CHW)1人とボランティア1人が同乗し、サンダラから更に2人のCHWが乗り込み総勢10名で向かいました。

ルアノ地区サンダラから先の道は草が生い茂り、道なき道をリテタのCHWの道案内で進みました。帰りがこまらないように、立木に印をつけながら走りました。10時半にはリテタのネイバーフッドヘルスコミッティ（NHC）の委員長の家に着きました。委員長のご厚意で彼の家を診療の場として提供していただきました。

多くの患者が受診し、164名を診察し、マラリア陽性は164名中92名（56.1%）、5歳児未満の子供のマラリア陽性は48名中25名（52.1%）。連れてこられた5-6人全員がマラリア陽性といった家族もみられました。

ルアノ地区で巡回診療を開始した頃の状況ととても似ていて、とにかくマラリア患者が多く、蚊帳を使用していない家族も多数みられました。また、近くのムルングシ川を生活用水として使っていることなどから、腹痛を訴える腹部膨満の寄生虫感染を疑われる患者が29名、血尿を訴えるビルハジアの患者が11名みられました。妊婦のマラリア陽性が6名おり、妊婦健診も受診していない状況で、次回からできれば助産師にも同行してもらい、妊婦健診と家族計画を実施したいと考えました。

診療が終わったのが19時、最後は車のライトをつけ、ソーラーライトや懐中電灯を使っての作業となりました。住民に準備していただいたシマを大急ぎで食べて、帰路につきました。

南十字星の反対方向の空低く北斗七星がきれいに見えました。帰路は立木に目印をつけていたので、道に迷うこともなく帰ることができました。ルサカ着は翌日の2:00前でした。

運転手を含め、ルアノからのボランティア、みんなでがんばって無事に診療を終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

一番近くのヘルスセンターまで車が通れる道路はなく、道なき道を自転車で7-8時間、ヘルスポストまでは歩いて5-6時間かかるとのこと、予防接種も年2回のチャイルドヘルス週間の時だけ。マラリアで亡くなる人がいるとのこと。このような地区がザンビアにはまだたくさんあるのだと思います。

私たちにできることは限られています。雨季には診療に行くのはむずかしい所ですが、道路状況が許す限り、月1回の診療を続けようと思います。リテタ地区にはコミュニティヘルスワーカーが1名しかいないので、更に2-3人養成することが喫緊の課題です。



5月22日はニヤンカンガの巡回診療で、三重大の医師1名と医学生4人が同行されました。メイズの収穫時期と重なり患者数は40名と少なく、マラリア陽性は39名中3名、5歳未満の子供の陽性は12名中2名、16.7%と少なかったですが、これはコミュニティヘルスワーカーが多くマラリア患者を治療してくれているおかげだと考えました。

私は個人的な都合で5月末にザンビアを発ちます。薬品の準備や申し送りなどは特に問題ありませんが、トヨタザンビアに修理に出しているランドクルーザーが戻ってくる見通しあっていません。また、5/27に新しい事務所に引っ越す予定でしたが、家の内部の作業が終了しておらず5/29に延期になりました。正直どうなることか不安です。

私の不在の間もザンビア人スタッフが協力し、活動を継続します。くれぐれも事故などのないことを祈っています。みなさま、これからもご支援よろしくお願い申し上げます。

現地活動報告（ザンビアより芦田様から）

◎6月5日 サンダラ巡回診療

同行者：ムレタさん、チブリカさん、ボストンさん、メアリーさん、ニヨニさん、プリスカさん、
ギルバート（レンタカー）、ダニエル（ライノ）

CHW：7人：マーチンさん、マチラさん、マンボさん、コンスタンスさん（ルアノ）、ミルナーさん、
クリスタベルさん、エリアスさん（サンダラ）

患者数：47人（ギルバート曰く、リテタから来る必要が無かった分患者が少なかった）

マラリア検査数47人うち陽性12人、

主な症状：下痢、皮膚関係等 重篤なケース：無し

*蚊帳販売：9個（残り135個）

*道路状況：変わりなし。

◎6月12日 ルアノ巡回診療

同行者：ムレタさん、チブリカさん、ボストンさん、メアリーさん、プリスカさん、ダニエル（ライノ）

CHW：5人：マーチンさん、マチラさん、マンボさん（ルアノ）、リネットさん（マプランガ）、
クリストファーさん（チブンブレ）

患者数：81人 マラリア検査数81人うち陽性8人、

主な症状：腰痛、腹痛、目の問題等 重篤なケース：無し

*蚊帳販売：3個（残り132個）

*道路状況：変わりなし。

現地活動報告（三重大学病院研修医、医学部医学生からの報告－1）

5月21日に物品準備、5月22日にニヤンカンガへのモバイルクリニックに同行させて頂きました。

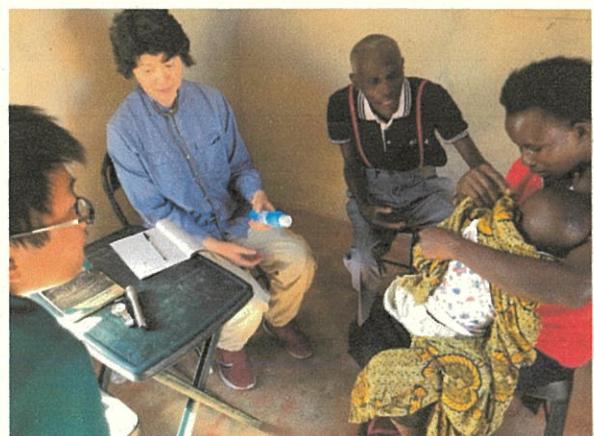
日本人の山元先生が中心となり現地スタッフの方々と共に、十分な医療を受けられない患者たちの元へ何時間も車を走らせて診療に当たる現場を見ることができ、非常に良い経験をさせて頂きました。

山元先生のような日本人が、日本から遠く離れたザンビアで人を救っている事実を知り、同じ日本人としてとても誇らしく思ったのと同時に、私自身もそのような広い視野を持って医師として働いていかなければとの引き締まる思いがしました。

山元先生が医師として駆け出しの頃に宮崎県の村で診療をしながら得た経験や思いが今に繋がっているとお聞きし、まずはやはり目の前の患者さんを一生懸命診ることが大切なのだと感じました。また、医師であることにあぐらをかくのではなく、本当に患者さんことを考えた医療者でありたいと強く思いました。患者さんに寄り添う医師でありたいです。

私も山元先生のように、たくさんの困難があったとしても自分がこうありたい、こんな医療を実践したい、と思うならばその夢に向かって突き進んで行きたいです。

モバイルクリニックでは山元先生以外にもボランティアのスタッフの方々もたくさんおり、みなさんが良い医療を提供するために協力し合って働いていて、やはり医師だけでは医療はできず、良いチームを作ることが大切だと知りました。



日本では決してできない貴重な経験をさせて頂くことができて、改めて本当に良かったと思います。山元先生のような日本人医師がいらっしゃること、医療に恵まれない人々が世界にはいることをしっかりと胸に刻んで、少しでも良い医師になれるように日本に帰ってからも日々成長していきたいです。

ザンビアの医療がより良いものになっていくことを心から願っています。

(三重大学病院 研修医 2年 木村隼大)

山元先生が、日本から遠く離れたこのザンビアで、ザンビアの人々の目線に立って、自分には何ができるか考え、それを実現するという行動力がとても魅力的でした。モバイルクリニックで活躍されていた現地の方々もとても生き生きとしており、どんな困難な状況でも笑顔で頑張っている人がいることを目の当たりにしました。私も自分になにができるか常に探し、行動に移せるようにならなければならないと感じました。

これからも山元先生の活動を心より応援しております。貴重な経験をさせていただき、まことにありがとうございました。

(三重大学医学部医学科 6年 岩瀬智弘)

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・2019事業年度（事業年度は1月から12月）も6月となりました。賛助会費(個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上)及びご寄附(金額は問いません)のご協力をよろしくお願ひします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附(賛助会費含む)いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書(賛助会費も寄附金と同様税控除の対象)をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名：NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称（全角）：トクヒ ザンビアノヘンチイリヨウヲシエンスルカイ

*お知らせとお願い

多くの方々からご寄附をいただき本当にありがとうございます。

その際、当法人に届くゆうちょ銀行からの明細票に、住所等の記載が無く、カタカナのお名前のみの方がおられました。

ここに再度そのお名前を記載しますので、お心当たりのある方は、日高までメール

[\(info@ormz.or.jp\)](mailto:info@ormz.or.jp)にて連絡をください。寄附受領証明書をお届けします。

| 振替受入明細票 | |
|-------------------------|----------------|
| 受払通知番号 | 89号 |
| 受入口座番号 | 01720-9-126351 |
| 払出口座番号 | _____ |
| 通知番号 | 1号 |
| 送金種別 | 振込 |
| 金額 | 5,000円 |
| 口座徴収料金 | 円 |
| 口座徴収料金には消費税・地方消費税を含みます。 | |
| 送金人 | 通信文 |
| 住所の記載が無い | |
| カタカナのお名前のみ | |

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|------------|
| ・ハセガワ ヒロシ | ・ソウマ イサオ | ・ナカムラ トモタカ | ・マツモト ヨシコ |
| ・タムラ ノリコ | ・ヤマサキ マリア | ・ヌマタニタカコ | ・ウマコシヤスヒロ |
| ・タニグチ ツトム | ・カネヒラ アキラ | ・タケハラ サエコ | ・トチオリ イクミ、 |
| ・タカキ ミホ、 | ・コウノ トモヤ | ・クニタケ アユミ、 | ・オカダ ケンイチ |
| ・オオヤマ ユミカ | ・シラキ マサフミ | ・ユ) イドタ | |

(敬称は略させていただきました)

*令和元年（2019年）もどうぞご支援のほどよろしくお願ひします